

佐渡市議会議長・副議長 あいさつ



新議長

梅澤 雅廣

この度、議長に就任いたしました梅澤雅廣です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、ご案内のとおり自治体運営の骨子は、皆様に選ばれた市長による執行機関と議事機関である議員で構成する議会とが対等の関係を保ちつつ、それぞれに機能していく、いわゆる二元代表制により成り立っております。

議事機関である議会に課せられた大きな責務の一つは、団体意志の最終決定、即ち市長提案の予算、決算、各種条例等の可否を決定することであり、また一つには、執行機関が公平、適正に行政権を行使しているかどうかを監視することであり、更には代表質問、一般質問、質疑

討論、委員会審査等を通して民意を行政に反映させていくこと等であります。

佐渡市が発足して2年が経過しました。おのおの特徴を持った10の市町村の合併からくる、きしみや凹凸の調整、加えて地方いじめとも思いたくなる「三位一体改革」の不透明さによる財政のひっ迫と、新市建設計画の大幅な見直し等、誠に厳しい状況が続いておりますが、私どもはこの苦境を克服し、合併特例期間中には是非とも地方分権時代にしっかりと対応できる佐渡市を建設しなければなりません。議会は議会としての本分を踏まえ、行政とも呼応しながら前途に横たわる幾多のハードルをクリアし、目的に向かって邁進する所存であります。

皆様には、今後とも議会に対する叱咤しつたと、更には市政への積極的なご参加を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。ましてあいさつとさせていただきます。



新副議長

金子 克己

このたび、3月定例議会におきまして、議員諸氏の支援のもと、副議長に選任いただき、その重責を担うことになりました。

もとより浅学非才の私、身に余る光栄でございますが、皆様のご指導・ご協力なくして、この任は務まりません。ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、佐渡市は多難な諸問題を抱えながらも日進月歩、市勢発展に向かい一途をたどっております。市民の負託を受け、市政壇上に送られている私どもは、自己の任務を深く肝に銘じ、終始一貫、誠心誠意を持ってことに当たり、「議会人」として、職務完遂に邁進できる議会運営を市民・議員諸氏の補佐として努める覚悟でございます。重ねてご支援をお願いし、ごあいさついたします。